

歯科麻酔 四方山話

歯科麻酔に携わって30年以上が経過しました。全身麻酔、精神鎮静法、有病者の管理、ペインクリニックなど様々な経験をさせていただきました。その中で歯科麻酔医として是非とも歯科医療に携わる皆さんにお伝えしたい内容をできるだけ面白く興味が持てるようにオムニバス形式でお話しします。

【講師】**椎葉 俊司 先生**

九州歯科大学附属病院

歯科麻酔・ペインクリニック科

【略歴】

昭和63年	九州歯科大学卒業
平成元年	九州歯科大学大学院（歯科麻酔学講座）進学
平成5年	九州歯科大学大学院修了
平成5年	医療法人伊東会 伊東歯科医院勤務
平成8年	九州歯科大学 歯科麻酔学講座 助教
平成10年	ハーネマン大学 神経学講座留学
平成16年	九州歯科大学 歯科侵襲制御学分野 講師
平成23年	九州歯科大学 歯科侵襲制御学分野 准教授

1、アドレナリンは本当に血圧を上げるの？

局所麻酔薬のリドカインは血管拡張作用があるため、作用時間の延長、止血効果、局所麻酔中毒予防のために血管収縮薬のアドレナリンが添加されている。血管収縮薬がゆえに血圧が上昇すると考えられるのは当然です。半分は当たりです。確かに禁忌症例もありますが、そんなに恐れる必要もありません。

2、抜歯中に血圧測ったら上が180mmHgだった。どうしよう!? 患者さんは「血圧高くないって」言ってたのに。

よくある話ですが、笑ってもいられません。程度の差こそあれ日本には4000万人の高血圧患者がいます。歯科を受診する65歳以上の患者さんの二人に一人は高血圧症と考えて良いでしょう。歯科治療時の高血圧症患者の危険性と、どうにかして血圧を下げたい場合の対処法をお話しします。

3、神経麻痺は治るのか？

「神経麻痺は時間がかかりますが、必ず治りますよ！！」の根拠はあるのでしょうか。何もしなくても回復する症例は3週間程度で回復します。重症例ではイタズラに時間を費やす、専門医への紹介が望まれます。重症度を判断する方法があります。

4、歯科衛生士の業務について考える。

昨今、歯科衛生士による局所麻酔注射の是非が問われています。日本歯科麻酔学会は「積極的には勧

3月28日(土) 18時～20時

九州ビル9階

(福岡市博多区博多駅南1-8-31)

会員無料

未入会の勤務医は参加費1万円。当日まで入会の場合は参加費無料。勤務医のスキルアップとして勤務医の先生にもご案内ください。

めないが、士気の高い歯科衛生士の施行を妨げるものではない」との立場をとっています。教育のガイドラインの構築が必要でしょうが、私も決して反対ではありません。私見ですが、これから歯科衛生士業務に関しての可能性についてお話しします。

5、一次救命処置

ほとんどの歯科医療従事者は一生関わることがないと思いますが、一旦起こつてしまったら何らかの対処をしなければなりません。不幸な結果に終わったとしても、適切な対処を行なったか、否かによって受けるダメージも変わってきます。救急救命の場でAEDが十分に使用されていない事実があります。音声ガイドンスで指示がありますが、1年に1回はトレーニングの必要があると考えます。救急救命の勘所をお話しします。

6、患者さんの内服薬知っていますか？

超高齢社会を迎え何らかの全身疾患を持つ患者さんが増加しています。薬はその患者さんの病気を映す鏡です。内服薬によっては歯科治療時に注意を要します。

7、その他

お伝えしたい内容を要所要所でコーヒーブレイク的に盛り込んでお話しし、長丁場の講演会を退屈しないで最後まで聴いていただけるように頑張ります。

FAX 092-473-7182

お申込のうえ、当日受付で本用紙をご提出ください。

氏名：

※未入会の先生はご入会ください

医療機関：

TEL：